

学校は、家庭・地域との連携を進めています



1 なぜ連携が必要なの？

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた児童の「生きる力」を育成させるためには、学校と家庭と地域が、相互の意思疎通を図り、それぞれの教育機能を生かした、より効果的な取り組みを展開していくことが必要です。学校が抱える様々な課題を地域で共有し解決していくことが必要です。以上のことから、学校・家庭・地域の連携が必要なのです。

2 連携を進めるために、学校には「地域連携教員」、地域には「地域コーディネーター」がいます！

地域連携教員ってどんな先生なの？

平成26年度から、栃木県内の各学校に配置された学校全体で地域の教育力を生かした教育活動を組織的・効率的に推進していくために地域との連携に係わる連絡窓口となる先生のことです。

地域コーディネーターはどんな活動をしているの？

学校の先生と学習支援ボランティアをつなぐ仕事をしています。学校から依頼があるときに、ボランティアを探します。

3 学校支援ボランティアとはどんなことをするの？

学校の目標や課題を共有し、学校の教育方針を実現するために、職員や児童と一緒に働いたり、児童の学習の支援をしたりする方々のことです。

4 今二小では、ボランティアは、どのような活動をしているのですか？

読み聞かせ、野菜栽培の指導、校外学習の引率補助、家庭科ミシンの使い方の手伝い、生け花、花壇の整備、陸上指導、下校見守り、かけ算九九の聞き取り、版画指導、習字指導、図書室の整理などで御世話になっています。

5 地域連携によって期待される効果はどんなものがあるのですか？

①児童にとって期待される効果

- ・「生きる力」が育成されます
- ・地域への愛着が芽生えます

- ・学力向上の基盤をつくります
- ・社会性が育まれます

②教職員にとって期待される効果

- ・地域への理解が深まります
- ・授業の内容が充実します

③地域や保護者にとって期待される効果

- ・生涯学習活動が充実します
- ・地域の教育力が向上します

④学校にとって期待される効果

- ・教育課題が解決されます
- ・地域との信頼関係が構築されます

- ・地域コミュニティが活性化します

- ・地域との協働につながります
- ・教育課程の質が向上します

